

入鹿小だより

～わくわく登校・ニコニコ下校～

熊野市立入鹿小学校
校長 樋口 佳洋
平成 30年 5月 15日
第 3号

遠足 楽しかったよ！

4月27日(金)、ゴールデンウィークを前に、全校児童で赤木城跡へ遠足に行きました。昨年度は熊野市消防本部と山崎運動公園への遠足を実施し、社会見学と歩いて行く遠足とを隔年で実施するようにしました。

2年前の赤木城跡への遠足は、とても天候がよく、暑かったそうで、行く道の途中で持って行ったお茶がなくなってしまう児童が続出し、大変だったと聞いていました。しかし今年は、時々晴れ間がのぞきながらも雲があるお天気で、ちょうどよい気温になりました。学校を出発してからしばらくは登り道が続きますが、何度か休憩を入れたこともあり、途中でお茶がなくなってしまう児童もおらず、無事、赤木城跡に到着することができました。

到着後、まずは児童会本部の子たちが考えたレクリエーションからスタートです。「ころがしドッジボール」「警ドロ」「氷鬼」などを楽しみました。その後は、お待ちかねのお弁当タイムです。普段は給食を食べている子どもたちも、この日ばかりはおうちの方が作ってくれたお弁当です。どの子もうれしそうにお弁当を見せ合いながら、おいしいお弁当を嬉しそうに食べていました。外で食べるお弁当の味はまた格別だったでしょうね。

食後のおやつタイムも終わり、最後は1年生の歓迎会です。5・6年生の子たちが手分けして作った「入学おめでとう」の色紙をもらい、1年生は大喜びでした。今もその色紙は1年生教室に飾られています。

帰りは路線バスに乗ってきたので楽々です。天気にも恵まれ、本当に楽しい1日となりました。子どもたちはまた一ついい思い出を作り、今年目標である「わくわく登校、ニコニコ下校」をすることができました。



思いがけないお客さま

以前、「マナウスよもやま話」で、入鹿小学校にもマナウス日本人学校にもいろんな「動物の」お客様が来ると紹介しましたが、先日、入鹿小学校に思いがけないお客さまがいらっしゃいました。今回はれっきとした人間です。

5月8日の午前中、十数人の老人方がお見えになり学校を見学させてほしいとの申し出がありました。入鹿小学校の卒業生に皆さんで、ちょうど休み時間に校舎内を見学していただけるタイミングだったので、少しだけではありますが見学していただくことにしました。お話を伺うと、昭和23年度の卒業生の方々に、今年81歳になるそうです。同窓会で紀和に集まったので、今、学校はどうなっているのかをぜひ見てみたいとのことでした。みなさんが在校されているときは、現在からみる旧校舎よりも一つ古い校舎だったそうです。玄関にその校舎の写真も残っており、とても懐かしそうに見ておられました。

その頃の児童数は500人以上で、1学年2クラスあったとのことでした。調べてみると昭和20年から33年ころが児童数が一番多く、入鹿小学校に子どもが満ち溢れ、ある意味、最も活気があった時期だったのでしょうか。

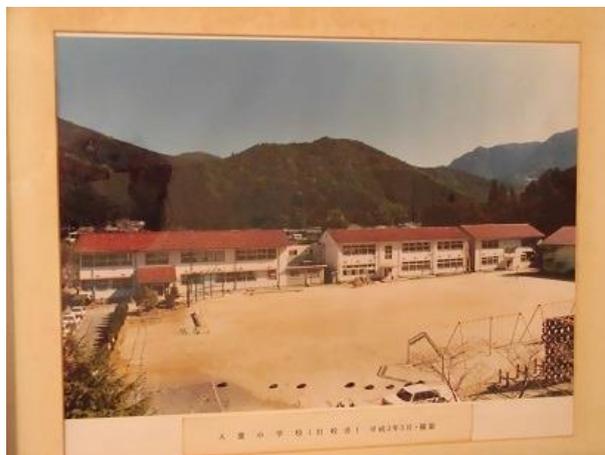
また、校歌のことが話題になり、話を伺うと、今の校歌にちょうど変わったときに在籍されていたようで、校歌の作詞者、福山鷹治さんは在校されたすぐ後の校長先生だったようです。入鹿国民学校から入鹿小学校に変わったときに校歌も新しくなったそうです。

実は、少し前にも同様のお客様がおみえになったのですが、ちょうどその日は全国学調とみえスタディチェックの日で、子どもへの影響も考えられたのでお断りすることにしたのでした。その時お越しいただいた皆さま、その節は申し訳ございませんでした。

このように130年以上の歴史ある入鹿小学校ですから、たくさんの先輩方に見守られて、今の入鹿小学校があります。この名誉ある名前に恥じない学校にして行かねばと再認識した1日となりました。



昭和32年まであった旧校舎 空撮



平成3年まであった旧校舎